

柘榴坂の仇討（2014）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2014/09/20

公開情報 松竹

映倫 G

【キャッチコピー】

ひたむきに生きる。

「仇討ヲ禁ズ」——

その日、運命が動いた

【解説】

浅田次郎の同名短編時代小説を「壬生義士伝」の中井貴一と「テルマエ・ロマエ」の阿部寛主演で映画化。江戸から明治へと時代が大きく変わる中、武士の矜持を捨てることなく、桜田門外の変で失った主君・井伊直弼の仇を追い続ける男と、武士を捨てて車引きとなり孤独に生きる刺客の最後の生き残りの男が、暗殺から13年後に迎えた邂逅の行方を描く。共演は広末涼子、中村吉右衛門。監督は「ホワイトアウト」「沈まぬ太陽」の若松節朗。

安政七年（1960年）。時の大老・井伊直弼に仕える彦根藩士の志村金吾。桜田門外で暗殺者集団の襲撃を受けた際、直弼の警護役を務めながらその命を守りきることができなかった。その失態を恥じた両親は自害するも、自身は切腹を許されず、逃亡した水戸浪士を討ち取れとの藩命が下る。以来、献身的な妻セツに支えられ、仇を捜し続ける日々を送る。それから13年、時代は明治へと変わり、武士の世は終わりを告げ、彦根藩もすでにはない。にもかかわらず、金吾の仇討ちへの執念は揺らぐことはなかった。そしてついに、18名の刺客の最後の生き残り、佐橋十兵衛の居場所を知る金吾だったが…。

【クレジット】

監督 若松節朗

製作 川城和実

大角正

米山久

神原秀明

イグナシオ・ワダ・アギレラ・カストロ

企画 小滝祥平

嘉手苅理沙

河野聰

秋元一孝

甲斐輝彦

エグゼクティブプロデューサー 吉田正樹

山本昌仁

山口太二朗

	井上高志 岡村幸彦 加藤悦弘 芳賀正光 井上学 武部由実子 谷光 佐倉寛二郎	
原作	浅田次郎	『柘榴坂の仇討』（『五郎治殿御始末』所収）
脚本	高松宏伸 飯田健三郎 長谷川康夫	
撮影	喜久村徳章	
美術	小川富美夫	
編集	阿部亘英	
音楽	久石譲	Joe Hisaishi
録音	小野寺修	
照明	長田達也	
製作統括	木下直哉	
装飾	中込秀志	
殺陣	宇仁貴三	
助監督	山田敏久	
出演	中井貴一 阿部寛	志村金吾 直吉（佐橋十兵衛）
	廣末涼子	Ryoko Hirosue
	高嶋政宏 真飛聖 吉田栄作 堂珍嘉邦 近江陽一郎 木崎ゆりあ 津嘉山正種 並樹史朗 江藤漢斎 峰蘭太郎 宮田圭子 藤竜也 中村吉右衛門	セツ 内藤新之助 マサ 財部豊穂 稻葉修衛門 小野寺覚馬 ユキ 秋元和衛 井伊直弼